

阿波市議会だより

第29号 年4回発行 [平成25年12月1日]

発行/阿波市議会 編集/議会広報特別委員会
〒771-1792 徳島県阿波市阿波町東原173番地
電話 0883-35-4118 FAX 0883-35-4150
ホームページアドレス <http://www.city.awa.lg.jp/gikai/>

平成25年第3回(9月)

阿波市議会定例会の概要

9月定例会は、9月3日から27日までの25日間の会期で開かれました。開会日には野崎市長から、阿波市子ども・子育て会議設置による「阿波市子ども・子育て支援事業計画」について、阿波市女性消防隊の全国女性消防隊法大会出場について、自治会長会について、「阿波ベジ活性魅力発信事業」について、新庁舎建設後の支所機能のあり方について行政報告がありました。

また、平成24年度一般会計、特別会計及び水道事業会計の決算認定、平成25年度一般会計補正予算などの議案について概要と提案理由の説明がありました。そのあと決算審査特別委員会が設置されました。

代表・一般質問では、11人が市政全般について考えを問ひ、まちづくり構想、観光・農業振興、防災対策、道路整備、教育関係などについて議論されました。

9月17日に決算審査特別委員会、18日に総務、19日に文教厚生、20日に産業建設の各常任委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。

閉会日には、委員長による各常任委員会及び決算審査特別委員会の審査報告があり、市長提出議案がいずれも認定及び可決され、追加議案として人事案件1件が提出され同意されました。また、議員発議として「地方財政の充実・強化を求める意見書」が提出され、可決されました。

代表質問

阿部 雅志 議員
(阿波みらい)



合併10周年記念事業について。

問 まちづくりの中心である新庁舎及び交流防災拠点施設並びに給食センターの施設完成を祝うとともに、10周年を祝うための式典や記念行事を開催する予定。実施にあたっては、行政だけでなく、さまざまな世代の市民に参画していただき、知恵と工夫を凝らして進めたい。

問 新庁舎等を中心とした今後のまちづくりについて。

答 芸術、文化、健康づくり、防災、観光のすべての面を充実させ、市全体の活性化に寄与する拠点としたい。また、人と人との「絆」を大切にし、これまでに以上の住民参加をめざし、住民と行政との協働のまちづくりを進めたい。

問 空き家対策について。

答 国や県の動向を注視しながら、現在行っている空き家情報登録制度の充実や、木造住宅耐震化支援事業、老朽危険空き家除却支援事業などの支援対策により、中古住宅の活用や所有者の適正管理を促し、新たな空き家の発生を抑制、快適な生活環境の確保と活力ある地域づくりにつなげていきたい。

松永 渉 議員
(阿波清風会)



問 阿波市の産業振興策への取り組みについて。

答 国の主要施策や阿波市独自の施策にも取り組み、高齢者が参加できる農業形態を考えたい。地元事業所の育成では、地域産業活性化経営支援事業等により事業所の育成、経営の安定に取り組んでいる。公共事業では、地元企業育成のため、一般競争入札等で対応を進めている。企業誘致や農業振興等、雇用の確保を進めたい。

問 福祉の向上策は何か。

答 民間活力により、サービスの拡充と向上を図る。指定管理者制度の導入や事業評価により、福祉サービスの向上に取り組むたい。

問 行政経営の効率化について。

答 自主財源の確保では、収納対策の強化や公共施設の統廃合、未利用財産の有効活用を図る。民間委託や民営化については、業務全般を点検、見直しをしていく必要がある。また、事務事業の整理、合理化及び事務処理の簡素化を図り、成果重視の行政運営の実現と説明責任を果たしたい。

問 地球温暖化対策について。

答 健康福祉部では、熱中症予防の啓発を行っている。農業経営では、栽培方法や品種改良等の高温対策を長期的に取り組むたい。環境問題に総合的、計画的に取り組む「阿波市地球温暖化対策実行計画」については、国、県の動向をみながら、地球温暖化の進行に応じた社会づくりを目指す。

森本 節弘 議員
(志政クラブ)



問 阿波市地域防災計画の策定状況と、自主防災組織結成率向上の対策をどのように考えているか。

答 東日本大震災による課題、教訓を受け災害対策基本法の改正に伴い、阿波市地域防災計画の改定を進めている。市内山間地域においては土砂災害対策を、平たん地域においては河川等の氾濫による洪水、浸水に対する水防対策等を軸に置き進めている。また、自主防災組織結成率の向上については、自治会単位での自主防災組織が活発に活動できるように、市内10小学校区で自主防を支援する連合組織を結成したい。さらに各小学校などの避難所の運営マニュアルを策定したい。

問 市内排水路計画の進捗状況と、吉野地区コモウ川の今後の維持管理について。

答 「阿波市排水対策基本計画」については、平成22年度より実施している道路側溝排水路調査を基に、平成25年度末には取りまとめたい。また、コモウ川については、地域の排水路機能を想定した管理運営が必要になる。板名用水地域排水対策連絡協議会では、今後の施設や地域排水のあり方については具体的な方策まで至っていない。今後、県や上板町、関係団体と連携を図りながら、さらに協議・検討を重ねていきたい。

一般質問

榎原 賢二 議員
(阿波絆)



問 阿波警察署と吉野川警察署の統合について。

答 平成24年12月に、「徳島県警察署の再編整備」について、県警より説明を受けた。その後、今年8月に阿波選挙区の両県議の説明で、阿波署の人員体制が

副署長の幹部以下30人規模となり、再編計画が良い方向となった。市民の安全・安心を守るため、市民の十分な理解の上で再編するように、請願提出に向けて、市全体で取り組みたい。

問 本庁及び各支所の民間より借り上げている土地の面積と金額について。

答 本庁北側駐車場は1,440㎡、年間借地料100万円。市場支所は2,201㎡、174万9千円。土成支所は3,659㎡、109万7千700円。吉野支所は1,799㎡、143万7千円。本庁及び各支所の4か所の合計は借地面積9,099㎡、年間契約金額は528万3,700円である。

問 西消防署の問題について(昭和46年に建設され、施設が老朽化しており、耐震化ができていない)。

答 市民の安全・安心を守る観点からも、最重要災害対策拠点施設であり、西消防署の充実に向けて関係機関と協議していきたい。

問 市の建築施設の耐震について。今後の取組みと対象物件数は。

答 学校教育関係施設では、本年度末で耐震化100%となるよう工事を進めている。対象物件は615棟あるが、車庫や倉庫、屋外トイレや物置等を除くと、413棟になる。この内旧耐震基準で未計画の建物は71棟となる。耐震化が必要と思われる施設については、平成26年度より順次耐震診断調査を実施し、その結果を踏まえ工事の計画を立てていきたい。

問 公有財産の売却について。

答 現在使用目的のない土地の売却をすれば、人口増と固定資産税の増収になる。

問 現在5物件を売却候補地としている。今年度は、一般競争入札による初めての案件となるため、最も需要が見込まれる北消防跡地の売却を予定しており、今後も精力的に売却を進めていきたい。

問 各種税金の徴収と不納欠損額と収入未済額の今後の取組みについて。

答 税務課職員、管理職が一丸となって徴収努力をしている。土曜、日曜に休日訪問を行うなど、差押えを184件執行した。また、県の税務職員により、実務の指導を受けている。収納率の向上と自主財源の確保に努めたい。

香西 和好 議員
(公明党)



問 選挙人の負担軽減と投票率向上のために期日前投票の宣誓書を変更しては。

答 藍住町、坂出市を先進地事例として視察した。メリット、デメリットを参考にしながら、選挙管理委員会で協議検討を重ねた。宣誓書を自宅等であらかじめ記入すれば、選挙人の利便性の向上や投票率の向上が期待されるが、本人確認の判断精度が低下する恐れがある。他市の導入状況を見て今後協議検討していく。

問 新庁舎敷地内に市民憲章碑を建立しては。

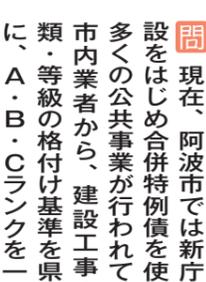
答 阿波市民憲章は、市民と行政が一体となって新生阿波市の将来像の実現を目指していく道しるべとして制定。この市民憲章が市民の暮らしの中で実践されていくよう、普及啓発に積極的に取り組むために、新庁舎玄

関口の東側、市民広場の中に掲示板の設置を計画している。

問 阿波の土柱保存管理の進捗状況は。

答 平成25年度に雑草、つたなどを除去。また土柱のひだの倒壊を招く危険性の高い樹木を伐採する。波濤ヶ嶽の両側の山林にある樹木は、土柱の保存に影響を及ぼすだけでなく、土柱特有の地形を視界から遮っているため、平成26年度に伐採する計画をしている。

藤川 豊治 議員
(阿波みらい)



問 現在、阿波市では新庁舎建設をはじめ合併特例債を使って多くの公共事業が行われている。市内業者から、建設工事の種類・等級の格付け基準を県並みに、A・B・Cランクを一緒にできないかという声があるが。

答 市の格付けは、県が実施している格付けをそのまま利用している。県では「工事請負者の格付けを定める場合の主観点数算定要領」を定めて評価している。これは経営事項審査で評価された点数に県がそれぞれ各業者、工種ごとに12項目について主観点数を加点や減点し、格付け点数をつけている。このランク付けを上げるには、県の経営事項審査での点数に加算できるように、格付けに係る評価点を上げる必要がある。

問 最近市民の方から「朝夕、犬を連れて散歩する人が多くなっているが、犬のふんを堂々と放置する人が増えて困っている。何とかならないか。」という問い合わせがあった。「阿波市ポイ捨て等及びふん害防止に関する条例」について尋ねたい。

答 この条例は、快適な生活環境の保全と環境の美化の推進を

図ることを目的としている。今後、速やかに適正に対応するとともに、広報誌、ケーブルテレビ等により条例の周知徹底と環境美化への意識啓発を行ってきたい。

正木 文男 議員
(阿波清風会)



問 汚水処理対策について、処理場（農集施設）はできたが加入が進んでいない。建設費の償還が重荷となっている等の問題もあるが、市内における汚水処理対策の現状と今後の整備方針は。

答 本市の整備状況は、農業集落排水、合併浄化槽を中心に普及率は約46%となっている。農業集落排水による起債の償還は平成40年度に終わる予定。今後、雨水排水計画と併せて合併浄化槽を中心に取組む。

問 福祉対策について、高齢者の介護や福祉、健康増進のためどのような取組みがなされているか。複雑な福祉施策の有効活用のため、新庁舎で総合的な窓口対応を考えられないか。

答 健康増進のため、市内三か所の保健センターを中心に生活習慣病の予防対策や母子保健事業等を実施している。介護事業推進のため、地域包括支援センターを中心に介護予防や介護保険の円滑な活用を支援を行っている。福祉の総合窓口については、今後の課題として検討する。

問 教育基本法が改正され、道徳教育の積極的な取組みが求められ、道徳の正式教科化の方向で検討がなされているが、本市における取組み状況は。

答 道徳教育は、人格形成を目指す学校教育の中で最も重要なものであり、一層充実強化に努める。道徳の教科化については

大事な要素であり、国の動向、議論に注目しながら対応していきたい。

池光 正男 議員
(日本共産党)



問 市道奈良坂古田線の計画は。新庁舎が完成すれば多くの市民が利用するため、狭隘区間について早期に現地調査等を実施し、地権者との用地交渉を行い、一日でも早い拡幅に努力したい。

問 教育長の学校教育の基本的な考え方は。

答 阿波市の子どもたち、一人一人が輝く園・学校、子どもたち一人一人が大切にされる園・学校、子どもたちが毎日喜んで来る園・学校づくりを目指したい。「生きる力」の育成を基本にした教育を推進し、その環境づくりとして、学校施設整備、教育内容の充実、家庭や地域との連携等の施策、心の問題への対応、特別支援教育の充実、安全対策の強化、学校給食体制の充実、高等学校との連携強化に取り組みを進めたい。

問 いじめ根絶のために、どのような取組みがなされているか。

答 いじめの実態は多種多様であるが、各学校でアンケートや面接などの調査、日記や子どもへの言動を注意深く観察しながら早期発見に努め、生命の尊重と道徳心を養い、人権意識の高揚を図っている。いじめの報告があった場合は、きめ細かく事情を聞き、学校と共に解決に取り組んでいる。また校長会で、いじめの予防、早期発見・早期解決に、保護者や関係機関と連携し、徹底した取組みに努めるよう指導・支援をしている。

問 さぬき津田川島線2号県道の高規格化、バイパス化について。川島鴨島のJR、192号線、鴨島徳島線などの連絡を密にすること。

問 県道区間となるため県に要望を行っていききたい。

問 国・県への働きかけについて。

答 要望を取りまとめ、優先順位をつけ要望活動に取り組んでいる。

問 潜水橋と善入寺島内の道路改良について。

答 県による潜水橋の大規模な改修は難しい状況である。善入寺島内の道路改良については局部改良を要望したい。

原田 健資 議員
(無所属)



問 養護老人ホーム吉田荘は民営化となり、旧の施設は老朽化し、用途廃止と決定している。今後の対応は。

答 旧吉田荘は既に築40年が経過し、老朽化も進んでいる。今後、解体工事が必要と考える。更地にした後、売却や貸付等の方向も視野に入れ検討したい。

問 市営住宅ストック計画に伴う老朽住宅の解体と、阿波町東条団地が現在37戸から60戸となる建築の予定について。

答 定住促進や安全安心な住環境づくりを推進するため、新設団地に集約する予定で、老朽団地は順次取壊しをする。東条団地は周辺6団地を集約し、現在地に新設し、旧6団地は用途廃止する。

問 県道主要地方道志度山川線の進捗状況は。

答 志度山川線バイパス工事は現在用地買収が92%終了。県は平成25年度事業として、用地交渉を進め、残り480m区間の工事着手する予定である。

問 梅ノ木原交差点から引地までの今後の改良計画は。

答 県の整備計画は現在未定である。工事中のバイパス区間が完了後の計画となっており、県への要望を継続的にしていきたい。

吉田 正 議員
(阿波みらい)



問 主要地方道志度山川線の山間部の通称「自衛隊道路」の引地から香川県境までの通行可能に向けた今後の取組みについて。

答 現在通行不能だが、今後県としっかり協議を重ねる。

問 詳細は、阿波市のHPに掲載しているよ。

答 詳細は、阿波市のHPに掲載しているよ。

問 詳細は、阿波市のHPに掲載しているよ。

答 詳細は、阿波市のHPに掲載しているよ。

問 詳細は、阿波市のHPに掲載しているよ。

答 詳細は、阿波市のHPに掲載しているよ。

活動状況報告

●文教厚生常任委員会・久勝保育所視察

9月19日に4月より指定管理となった久勝保育所を視察しました。所長から、年間行事内容やカリキュラムスケジュールなどの詳細な説明を受けたあと、所内を視察しました。子どもたちの生き活きとした様子から、いろんな体験をさせてあげたい、生きる力を身につけてもらいたい、との園の方針が感じられました。



●徳島県西部市議会連絡協議会研修会

10月18日三好市において、県西部市議会連絡協議会主催の議員研修会が開催されました。西部4市から総勢70名の議員が出席し、同志社大学大学院教授の新川達郎氏による「自治体議会の災害対応」と題した講演がありました。災害時における議会の役割と責任について各議員が熱心に耳を傾け、有意義な研修となりました。



●庁舎建設特別委員会・新庁舎建設現場視察

11月15日、新庁舎及び交流防災拠点施設建設工事の現場を視察しました。現在、造成工事が終わり、建物の基礎工事が行われています。12月からは、「免震装置」の設置工事が始まります。順調に工事が進んでいるとの説明を受けました。



●委員会等の開催状況

9月17日	決算審査特別委員会	20日	産業建設常任委員会
18日	総務常任委員会	27日	全員協議会
	地域活性化インターチェンジ調査特別委員会	11月15日	議会広報特別委員会
	文教厚生常任委員会	25日	庁舎建設特別委員会
			議会運営委員会

平成25年第3回 阿波市議会定例会 議案番号及び議決結果一覧表

議案番号	議案名	議決結果
議案第46号	平成24年度阿波市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第47号	平成24年度阿波市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第48号	平成24年度阿波市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第49号	平成24年度阿波市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第50号	平成24年度阿波市伊予谷簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第51号	平成24年度阿波市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第52号	平成24年度阿波市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第53号	平成24年度阿波市特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第54号	平成24年度阿波市御所財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第55号	平成24年度阿波市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決
議案第56号	平成24年度阿波市水道事業会計決算認定について	認定
議案第57号	平成25年度阿波市一般会計補正予算（第3号）について	原案可決
議案第58号	平成25年度阿波市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
議案第59号	阿波市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
報告第3号	平成24年度阿波市健全化判断比率及び資金不足比率について	-
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
発議第3号	地方財政の充実・強化を求める意見書	原案可決

お気軽に傍聴にお越しください

阿波富士城(じょう)山。およそ633m、阿波市の中心寄りにある雄姿の美しい山です。吉野川堤防から時々眺めています。岩津も堤防からの眺めがいい、何か歌碑もあります。柿原堰は雄大で、撮影にいいです。東西20kmの吉野川流域にも阿波市の観光、また、やすらぎ空間が各所に存在します。郡の城跡等々。

さて、今議会も道路をはじめ、さまざまな質問がありました。議会を通じて阿波市が益々活性化し、発展していきますよう、新人議員として願っております。東西や南北の交流がうまくいきますよう努力したいと思います。

(原田健資)

議会だより

編集雑感